

TEAC

取扱説明書

MD-H100

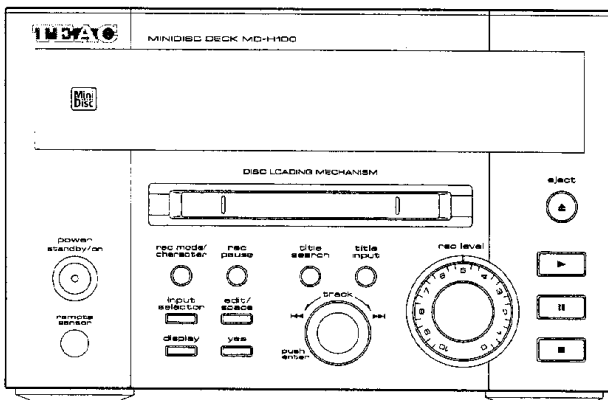


ミニディスクデッキ

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、保証書と一緒に大切に保管してください。

目次



安全にお使いいただくために	2
MDについて	4
接続	5
フロントパネルの名称と働き	6
リモコンの使用法	8
再生	10
プログラム再生	12
タイトルサーチ	14
リピート再生/シャッフル再生	15
録音の前に	16
録音	18
CDシンクロ録音	20
デジタル録音するときのルール	21
編集の前に	22
タイトルの編集	34
ディスプレイの表示	38
システム上の制約	40
おや？故障かな？	41
仕様・お手入れ	42
保証とアフターサービス	43






安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。





表示の意味

	警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。




絵表示の例

	△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。




警告

	万一、煙が出たり、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店または当社サービスセンターに修理をご依頼ください。
	万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがらないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
	電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

⚠警告

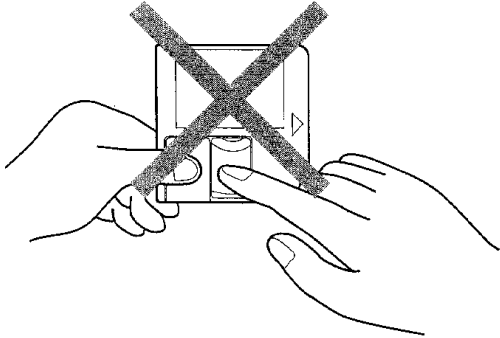
	この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。
	この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

	オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。
	電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。 <ul style="list-style-type: none">・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所・湿気やほこりの多い場所・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
	電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで、長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

MDについて

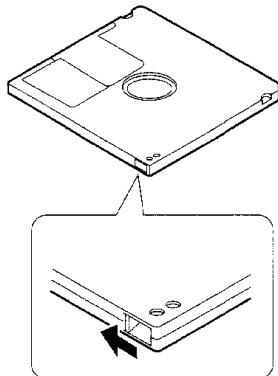
MDはカートリッジに収納されており、手軽に取り扱うことができますが、カートリッジの汚れやそりなどは誤動作の原因になることがあります。いつでもいい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



- 無理にシャッターを開けたり、中のディスクに触れたりしないでください。
- ゴミやホコリの多い場所に放置しないでください。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には置かないでください。
- MDカートリッジ表面のほこりは、乾いた布で拭き取ってください。
- MDカートリッジにラベルを貼るときは、指定の位置に正しく貼ってください。ラベルがめくれたり浮いたりしていると、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。
- ラベルを重ねて貼らないでください。
- MDが本機にセットされた状態では、カートリッジのシャッターが常に開いた状態になっています。ほこりを防ぐために、録音・再生後はMDを本機から取り出して保管してください。
- 本機を移動するときは、MDを取り出してください。

誤消去防止つまみ

MDには、大切な録音内容を誤って消さないように、誤消去防止つまみがついています。録音後、つまみをスライドさせて孔が開いた状態にすると、録音できなくなります。再び録音するときは、孔が閉じた状態に戻してください。



U-TOCとは

録音用MDでは、録音した曲の情報(開始アドレス、終了アドレス、タイトルなど)をU-TOCというところに記録するので、ここを書き換えるだけで簡単に編集することができます。

(U-TOC : User Table of Contents)

サンプリングレートコンバーター

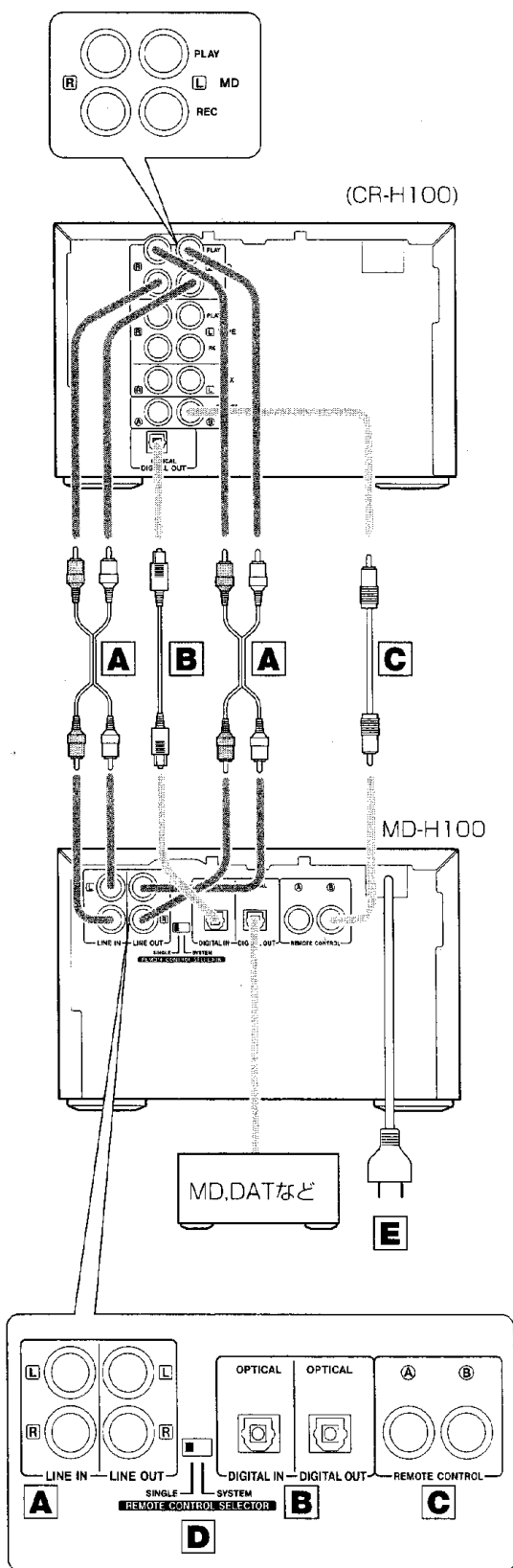
一般のデジタルオーディオには、次の3種類のサンプリング周波数が使われています。

- 48kHz : DATの標準モード、衛星放送のBモードなど。
- 44.1kHz : DATの標準モード、CD、MDなど。
- 32kHz : DATの標準および長時間モード、衛星放送のAモードなど。

CD、CS/BS、DAT、デジタル放送メディアなど、サンプリング周波数の異なるソースを高音質なデジタル信号のまま録音するために、本機はそれぞれのサンプリング周波数を44.1kHzに自動変換します。

(DAT : Digital Audio Tape)

接 続



⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

A 入出力端子 [LINE IN/OUT]

アンプのMD入出力端子に接続します。白のピンプラグを白(L)端子と、赤のピンプラグを赤(R)端子と接続してください。

プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

B デジタル光入出力端子 [DIGITAL IN/OUT]

光ケーブルを使って、CDプレーヤー、MDデッキ、D/Aコンバーターなどのデジタル光端子に接続します。

光ケーブルを接続する際は、接続端子のキャップをはずしてください。使用しないときはキャップをつけておいてください。

C リモコン端子 [REMOTE CONTROL]

TEAC EARNESTシリーズCR-H100のAまたはB端子とリモートコントロールコードでシステム接続すると、便利なシステム機能(タイマー再生、CDシンクロ録音機能など)が使用できます。

D リモコンセレクター [REMOTE CONTROL SELECTOR]

CR-H100とリモートコントロールコードでシステム接続した場合は"SYSTEM"にしてください。その他の場合は"SINGLE"にしてください。

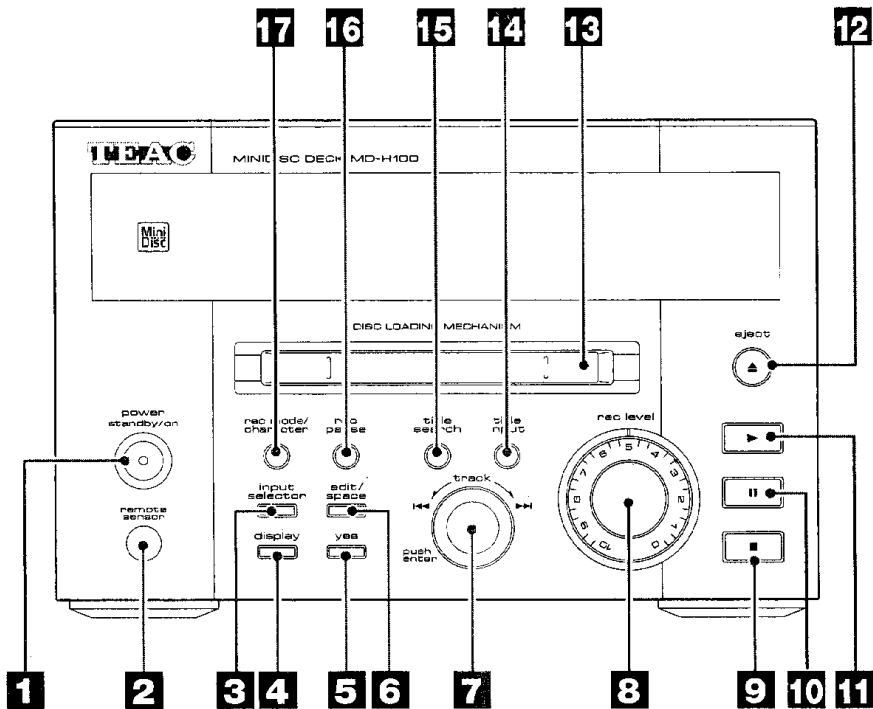
E 電源コード

家庭用電源コンセントに接続してください。

⚠ 交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。

⚠ 電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

フロントパネルの名称と働き



1 standby/onボタン

電源のスタンバイ/オンを切り換えます。
スタンバイモードのときはオレンジのインジケータが点灯し、ディスプレイに「-STANDBY-」が表示されます。

2 リモートコントロールセンサー [remote sensor]

リモコンからの信号をここで受信します。

3 入力切り換えボタン [input selector]

録音するときの入力を切り換えます。

- OPTICAL : デジタル入力
- MONO : アナログ入力(モノラル録音)
- ANALOG : アナログ入力(ステレオ録音)

4 displayボタン

ディスプレイの表示を切り換えます。

5 yesボタン

各種操作を確定するときに使用します。

6 edit/spaceボタン

編集モードの切り換えと、タイトルの編集でスペース(空白)を入力するときに使用します。

7 ジョグダイヤル(◀◀/▶▶)

再生時のスキップの他、各種操作に使用します。

8 録音レベル調節つまみ [rec level]

アナログ録音のレベルを調節するときに使用します。

9 ストップボタン [■]

再生/録音、各種操作を停止します。

10 ポーズボタン(⏸)

再生/録音を一時停止します。
もう一度押すと、一時停止が解除されます。

11 再生ボタン(▶)

MDを再生します。

12 ejectボタン(▲)

MDを取り出すときに押してください。

13 MD挿入口

スタンバイモードのときにMDを挿入すると、自動的に電源が入ります。

14 title inputボタン

タイトル入力モードに切り換えます。

15 title searchボタン

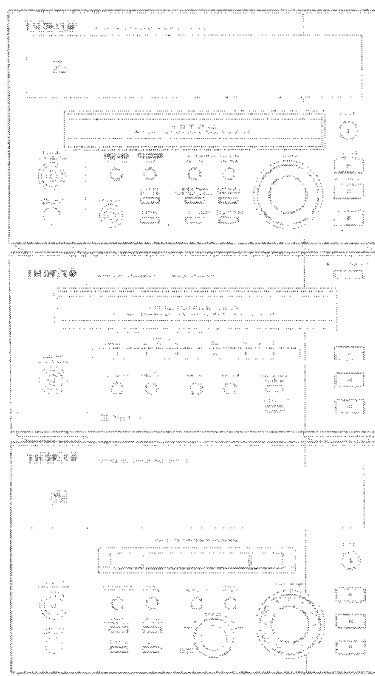
タイトルサーチに使用します。

16 rec pauseボタン

録音可能なMDが入っているときにこのボタンを押すと、録音待機状態になります。もう一度押すと、録音が始まります。

17 rec mode/characterボタン

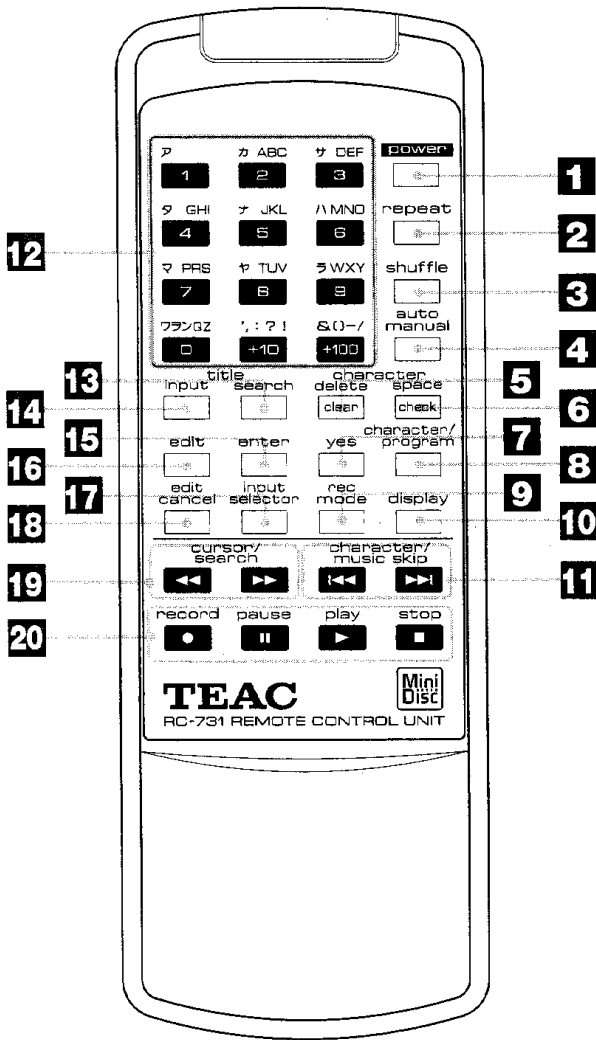
rec mode(書き込み設定モード)に切り換えます。
タイトルの編集では文字の種類を切り換えます。



結露現象について

本機を戶外から暖房中の室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後には、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1~2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

リモコンの使用法



1 電源ボタン [power]

電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

2 repeatボタン

リピート再生に使用します。

3 shuffleボタン

シャッフル再生に使用します。

4 auto/manualボタン

録音するときの曲番の付け方を切り換えます。

5 character delete/clearボタン

タイトルを編集するとき、文字の削除に使用します。
プログラムや編集作業の選択の取り消しに使用します。

6 character space/checkボタン

タイトルの編集でスペース(空白)を入力するときに使用します。
プログラムした曲のチェックに使用します。

7 yesボタン

各種操作を確定するときに使用します。

8 character/programボタン

タイトルの編集で文字の種類を切り換えます。
プログラムモードに切り換えます。

9 rec modeボタン

rec mode(書き込み設定モード)に切り換えます。

10 displayボタン

ディスプレイの表示を切り換えます。

11 character/music skipボタン (◀◀ / ▶▶)

再生時のスキップの他、各種操作に使用します。

12 数字キー

曲番を選択するときに使用します。
タイトルを編集するとき、文字の入力に使用します。

13 title searchボタン

タイトルサーチに使用します。
タイトルを編集するとき、挿入モードと上書きモードを切り換えます。

14 title inputボタン

タイトル入力モードに切り換えます。

15 enterボタン

各種操作を実行するときに使用します。

16 editボタン

編集モードに切り換えます。

17 input selectorボタン

録音するときの入力を切り換えます。

18 edit cancelボタン

編集作業の取り消しに使用します。

19 cursor/searchボタン(◀▶)

MD再生時の早送り/早戻しに使います。
タイトル入力時はカーソルの移動に使用します。

20 基本操作ボタン

■ : ストップボタン [stop]

再生/録音、各種操作を停止するときに使用します。

▶ : 再生ボタン [play]

MDを再生します。
録音一時停止時に押すと、録音が始まります。

⏸ : ポーズボタン [pause]

再生/録音を一時停止します。
もう一度押すと、一時停止が解除されます。

● : 録音ボタン [record]

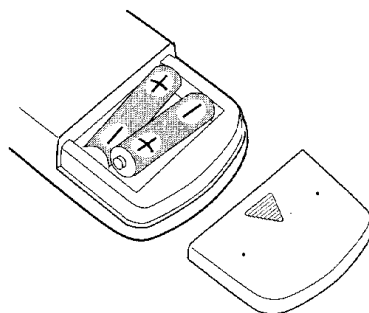
録音可能なMDが入っているときにこのボタンを押すと録音待機状態になります。もう一度押すと録音が始まります。

使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

ケースの⊕と⊖表示に合わせて乾電池(単4形)2本を入れてください。



電池の交換時期は…

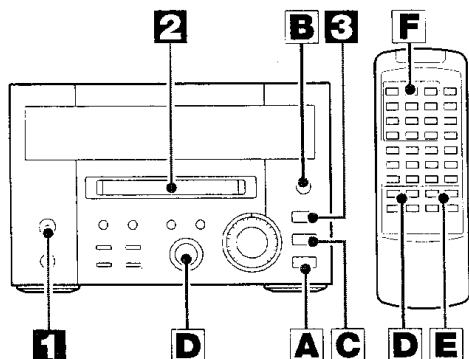
操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

電池についてのご注意

⚠ 乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

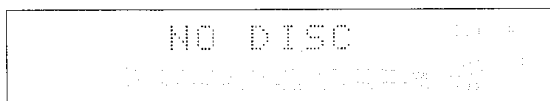
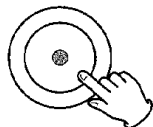
- 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

再生



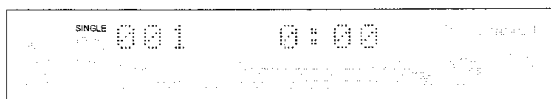
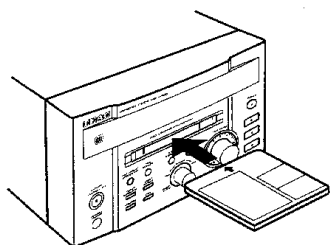
1 電源を入れる。

power
standby/on



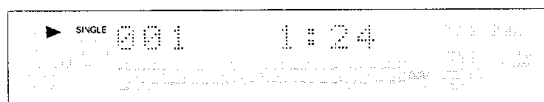
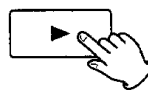
2 MDを入れる。

MDのラベル面を上にして、矢印の向きに入れてください。“READING”が点滅し、MDに名前が付いている場合はディスク名が表示された後、時間表示になります。



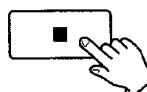
3 再生ボタン(▶)を押す。

一曲目から再生が始まります。



A 再生を止めるには

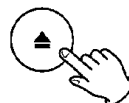
ストップボタン(■)を押すと再生が停止します。



B MDを取り出すには

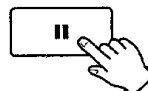
EJECTボタン(▲)を押してください。再生が停止し、MDが出てきます。このボタンを押すと、全ての機能はリセットされます。

eject



C 一時停止するには

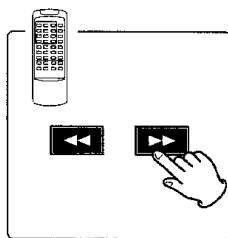
ポーズボタン(⏸)を押すと一時停止状態になり、ディスプレイの⏸が点灯します。



- 再び再生を始めるには、ポーズボタン(⏸)または再生ボタン(▶)を押してください。

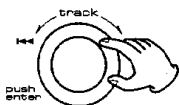
D 聴きたい部分を探すには(サーチ)

再生中にリモコンのサーチボタン(◀◀/▶▶)を押して、聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。



E 好きな曲から再生するには(スキップ)

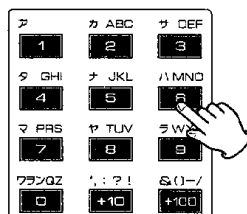
停止中または再生中にジョグダイヤルを回すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて操作してください。



- リモコンの場合はスキップボタン(◀◀/▶▶)を押してください。
- 再生中は、◀◀の方向に一回クリックすると再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、ジョグダイヤルを続けて回してください。
- プログラムモードでは、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。
- 一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。

F リモコンで選曲するには

停止中または再生中にリモコンの数字キーで曲番を押すと、その曲から再生が始まります。



曲番23

+10 ⇒ +10 ⇒ 3

曲番40

+10 ⇒ +10 ⇒ +10 ⇒ +10 ⇒ 0

曲番212

+100 ⇒ +100 ⇒ +10 ⇒ 2

- 一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。
- プログラムモードでは操作できません。"PROGRAM"インジケータが点灯している場合は、停止中にリモコンのcharacter/programボタンを押して、プログラムモードを解除してください。

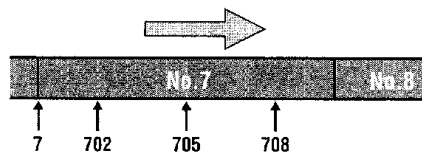
数字キーを使って、曲の途中から再生することもできます。

再生中の曲の中間: 0 ⇒ 5

曲番7の初めの部分: 7 ⇒ 0 ⇒ 2

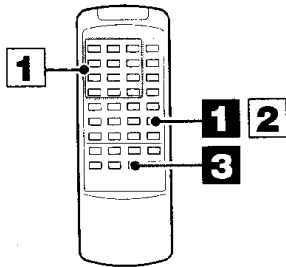
曲番7の中間: 7 ⇒ 0 ⇒ 5

曲番7の終わり: 7 ⇒ 0 ⇒ 8



- 一時停止中に操作すると、曲中の選んだところで一時停止状態になります。
- "READING"の点滅中に、そのMDに存在しない曲番を押すと、そのMDの一番最後の曲が再生されます。

プログラム再生



聴きたい曲を聴きたい順に、32曲までプログラムして再生することができます。

1 プログラムモードにする。

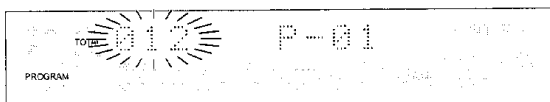
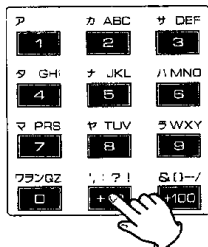
停止中にcharacter/programボタンを押して、プログラムモードにしてください。

- もう一度character/programボタンを押すと、プログラムモードは解除されます。



2 希望の曲番をプログラムする。

1 数字キーで曲番を選ぶ。



2 character/programボタンを押して、その曲番をプログラムする。



曲番12をプログラムするには



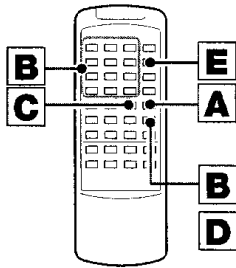
1、2の操作を繰り返して、希望の曲をプログラムしてください。

- 32曲までプログラムできます。32曲をこえると"FULL"が表示されます。
- 曲番を間違えたときは、character delete/clearボタンを押して、曲番を入れ直してください。
- 極端に短い曲はプログラムできません。
- 曲番が点滅している間にcharacter/programボタンを押さなかった場合、その曲はプログラムされません。

3 再生ボタン(▶)を押す。

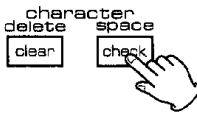


- プログラムした順番に再生されます。
- プログラムした曲の総再生時間が256分をこえると、"-**:**"が表示されます。



A プログラム内容のチェック

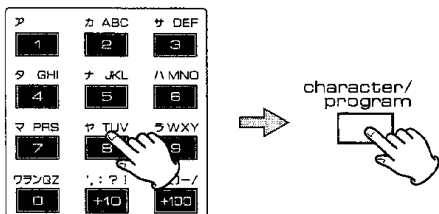
checkボタンを押すと最初にプログラムした曲が表示されます。ボタンを押すたびに、次にプログラム(メモリー)した曲番が表示されます。



- "PROGRAM"の点滅が終わると、チェックモードは解除されます。

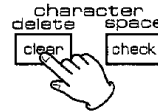
B プログラムに曲を追加するには

停止中に、希望の曲番とcharacter/programボタンを押すと、プログラムの最後に曲が追加されます。



C プログラムの一部を削除するには

停止中にclearボタンを押すと、プログラムの最後の曲が削除されます。



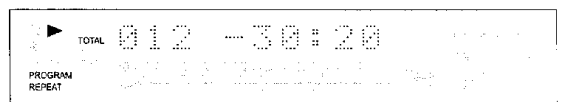
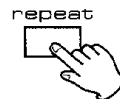
D 全てのプログラム内容の消去

character/programボタンまたはEJECTボタン(▲)を押すと、全てのプログラム内容が消去されます。

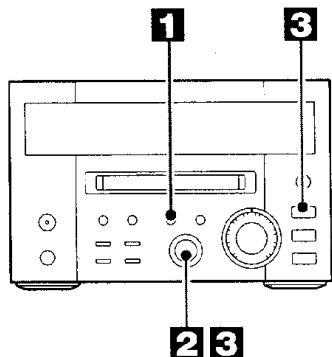


E プログラムした曲をリピート再生するには

プログラムモードのときに、repeatボタンを押して"repeat"を点灯させると、プログラムした曲が繰り返し再生されます。



タイトルサーチ



1 title searchボタンを押す。

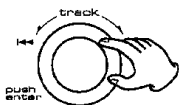


その曲にタイトルが付いていない場合は、トラックナンバーと"----"が表示されます。

- 停止中でも再生中でも操作できます。
- プログラムモードでは操作できません。
- タイトルサーチを中断する場合は、もう一度title searchボタンを押してください。

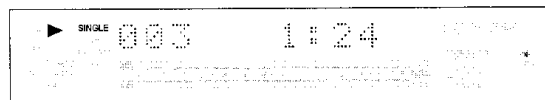
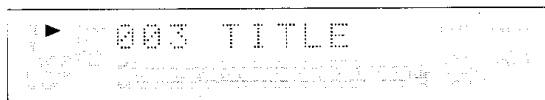
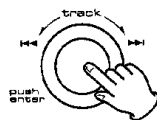
2 希望の曲を選ぶ。

ジョグダイヤルを回して、聴きたい曲を選んでください。



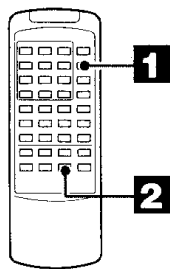
3 再生する。

ジョグダイヤルまたは再生ボタン(▶)を押すと再生が始まります。

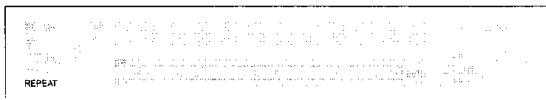
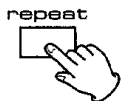


- リモコンの場合は、スキップボタン(◀◀/▶▶)で選曲してからenterボタンまたは再生ボタン(▶)を押してください。

リピート再生



- 1 repeatボタンを押す。



- 2 再生ボタン(▶)を押す。

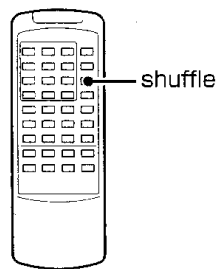


MDの全曲がリピート再生されます。

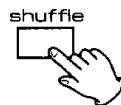
プログラムモードでは、プログラムした曲が繰り返し再生されます。全曲をリピート再生したい場合は、programボタンを押してプログラムモードを解除してください。

- リピート機能を解除したいときは、もう一度repeatボタンを押してください。

シャッフル再生



停止中にリモコンのshuffleボタンを押すと、MDの曲がランダムに再生されます。

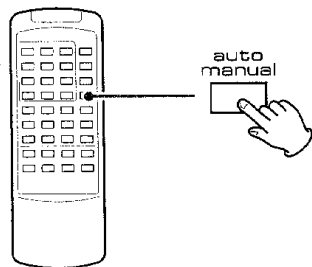


- シャッフル再生中に▶▶ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されます。◀◀ボタンを押すと、現在の曲の頭にに戻ります。既にシャッフル再生が終った曲には戻れません。
- プログラムモードではシャッフル再生はできません。

録音の前に

録音中に曲番を付けるには

曲番を付けておくと、編集のときや、再生時の頭出しなどに便利です。リモコンのauto/manualボタンを押すと、モードが切り換わります。



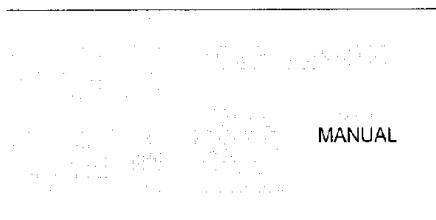
A オート [auto]

オートモードにすると、録音中に自動的に曲番を付けることができます。入力信号が2秒以上続けて一定のレベル以下になった場合、自動的に曲番を更新します。

CDまたはMDからデジタル録音しているときは、auto/manualに関係なく、CDまたはMDのデータに応じて自動的に曲番が付きます。

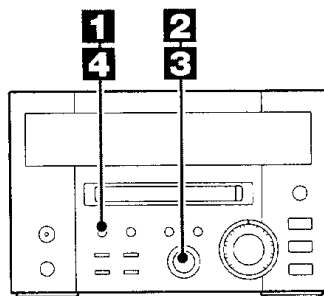
B マニュアル [manual]

マニュアルモードにすると、「MANUAL」が点灯します。録音中、曲番を付けたいところでedit/spaceボタン(リモコンの場合はeditボタン)を押してください。



- 録音後に曲番を付けたいときは、編集操作で「曲を分割」してください。
- オートモードでも、録音中にedit/spaceボタン(リモコンの場合はeditボタン)を押して曲の途中に曲番を追加することができます。

REC MODEの設定



1 rec mode/characterボタンを押す。

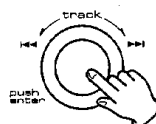
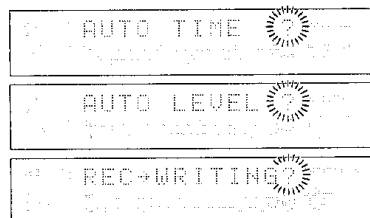
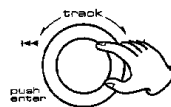
リモコンの場合はrec modeボタンを押してください。rec modeにすると、「AUTO TIME?」が表示されます。もう一度ボタンを押すと、rec modeは解除されます。

rec mode/
character



2 設定する項目を選ぶ。

ジョグダイヤルを回して設定項目を選択してから、ジョグダイヤルを押してください。リモコンの場合は、スキップボタン(◀◀/▶▶)で選択してからenterボタンを押してください。



3 設定する。

ジョグダイヤルを回して設定値を選択してから、ジョグダイヤルを押してください。リモコンの場合は、スキップボタン(◀◀/▶▶)で選択してからEnterボタンを押してください。

全ての設定が終わるまで**2**、**3**の操作を繰り返してください。

AUTO TIME?(アナログ録音のみ)

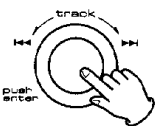
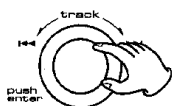
オートモードで曲番を付ける際に無信号状態を検出する秒数を、0.5秒から4秒まで0.5秒刻みで設定できます。初期値は2秒です。("TIME*2.0")

AUTO LEVEL?(アナログ録音のみ)

オートモードで曲番を付ける際の入力信号のレベルを、-2から+2まで設定できます。初期値は0です。("LEVEL*0")

REC→WRITING?

録音終了時のU-TOC書き込みのオン/オフを設定できます。オフにするとWRITING動作に入りません。連続して録音することができるので、ライブ録音などに便利です。初期設定はオンです。



4 rec mode/characterボタンを押して設定を終了する。

リモコンの場合はrec modeボタンを押してください。

以下の表示が出た場合は録音できません。

"DISC FULL"

MDがいっぱいです。不要な曲を消去するか、別のMDを使用してください。

"PROTECTED"

誤消去防止状態になっています。MDの誤消去防止つまみをスライドさせて孔をふさいでください。

"PLAY ONLY"

再生専用のMDには録音できません。録音用のMDを使用してください。

"***UNLOCK"

システムとのデジタル接続を確認してください。

"***SCMS ON"

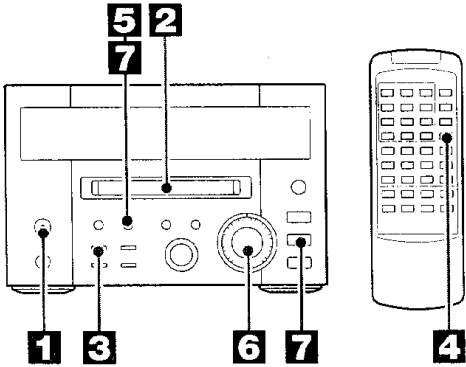
シリアルコピーマネージメントシステムで制限されているため、デジタル録音はできません。アナログで録音してください。

"***not Audio"

デジタル入力されている信号がオーディオ信号ではないため、録音できません。

("***"の部分には曲番が表示されます)

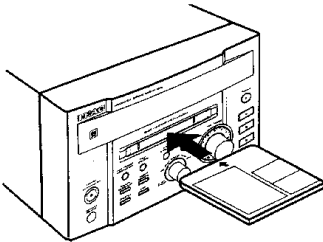
録音



1 電源を入れる。



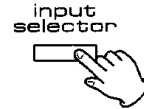
2 録音用のMDを入れる。



- 途中で録音してあるMDを入れた場合は、録音済みの部分の終わりから続けて録音されます。

3 入力を選ぶ。

input selectorボタンを押して、入力を選んでください。



OPTICAL : デジタル入力



MONO : アナログ入力(モノラル録音)

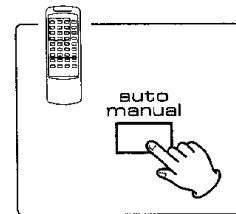


ANALOG : アナログ入力(ステレオ録音)



- MONOで録音すると、録音可能時間はステレオ録音時の約2倍になります。

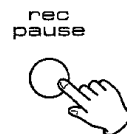
4 オートかマニュアルを選ぶ。



リモコンのauto/manualボタンを押して、曲番の付け方を選んでください。(P16参照)

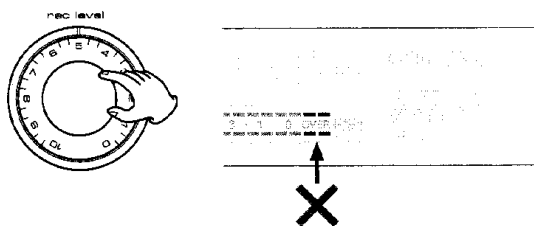
5 rec pauseボタンを押す。

録音待機状態になります。



6 録音レベルを調節する。(アナログ入力の場合のみ)

録音するソースの音を出し、音が最も大きい時にピークレベルメーターの"OVER"の部分が点灯しないように調節してください。



7 録音を始める。

rec pauseボタンまたはポーズボタン(II)を押してから録音するソースを再生し、録音を始めてください。

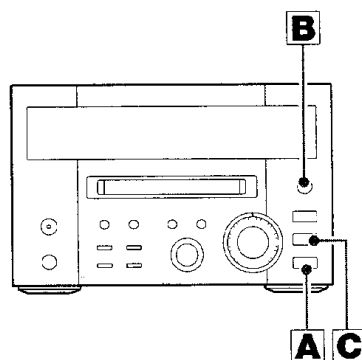
rec
pause



- 録音中にedit/spaceボタンを押すと、曲番が付きます。
- デジタル接続でCDの一曲をリピート再生して録音する場合、曲番が付かないことがあります。録音後に編集するか、曲が始まる度にeditボタンを押して曲番を追加してください。
- デジタル接続でMDの録音を開始した後にCDの再生を始めた場合、不要な曲番が付いてしまうことがあります。録音後に編集して削除するか、CDシンクロ録音を行ってください。

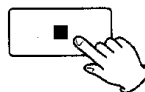
"WRITING"が表示されているときは

録音した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。



A 録音を止めるには

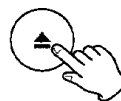
ストップボタン(■)を押すと録音が停止します。



B MDを取り出すには

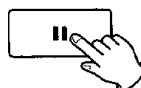
ストップボタン(■)を押して録音を停止してから、EJECTボタン(▲)を押してください。

eject



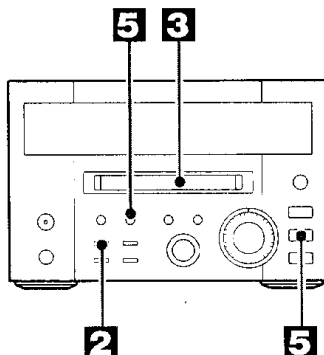
C 録音を一時停止するには

ポーズボタン(II)を押すと一時停止状態になり、ディスプレイのIIが点灯します。再び録音を始めるには、ポーズボタン(II)またはrec pauseボタンを押してください。



- 録音を一時停止するたびに、曲番が付きます。

CDシンクロ録音

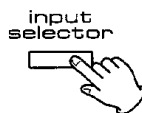


TEACのCDチューナーアンプCR-H100とシステム接続すると、CDシンクロ録音が可能になります。

1 CDプレーヤーにCDをセットして再生の準備をする。

CDの曲順を変える場合は、希望順にプログラムしてください。

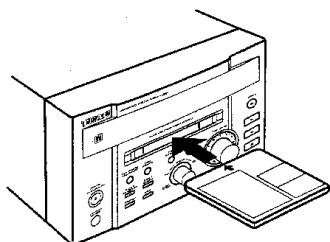
2 入力を選ぶ。



input selectorボタンを押して、入力方法を選んでください。

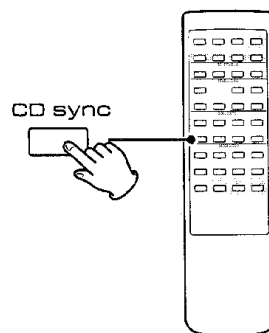
- デジタル入力で録音する場合は、本機とCR-H100を光ケーブルで接続し、OPTICALを選んでください。

3 録音用のMDを入れる。



4 CR-H100のリモコンのCD syncボタンを押す。

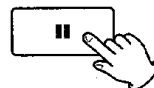
録音待機状態になります。



5 録音を始める。

rec pauseボタンまたはポーズボタン(II)を押すと録音が始まります。

rec pause



- CDシンクロ録音中は、本機のpauseボタンと、両機のストップボタン(■)、電源スイッチのみ操作できます。

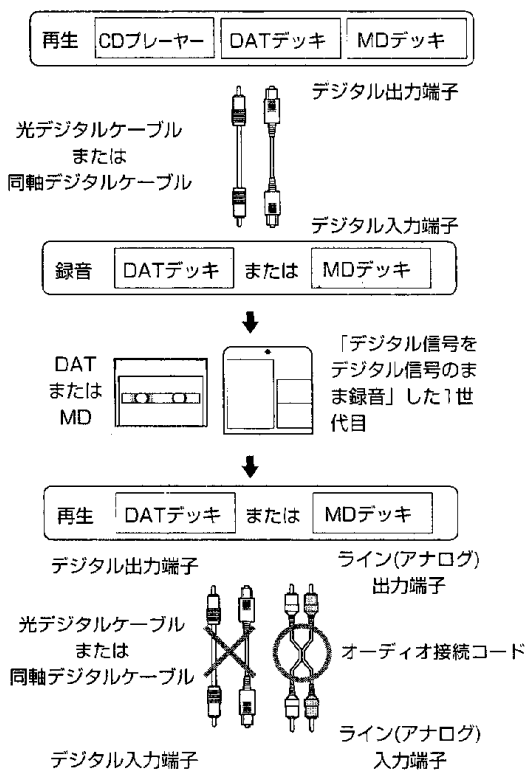
デジタル録音するときのルールについて

シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)

デジタル入力で録音したデジタルオーディオテープ(DAT)またはミニディスク(MD)から、さらにデジタル入力で録音することはできません。本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」すること(コピー)を「1世代まで」と規制したものです。以下の原則があります。

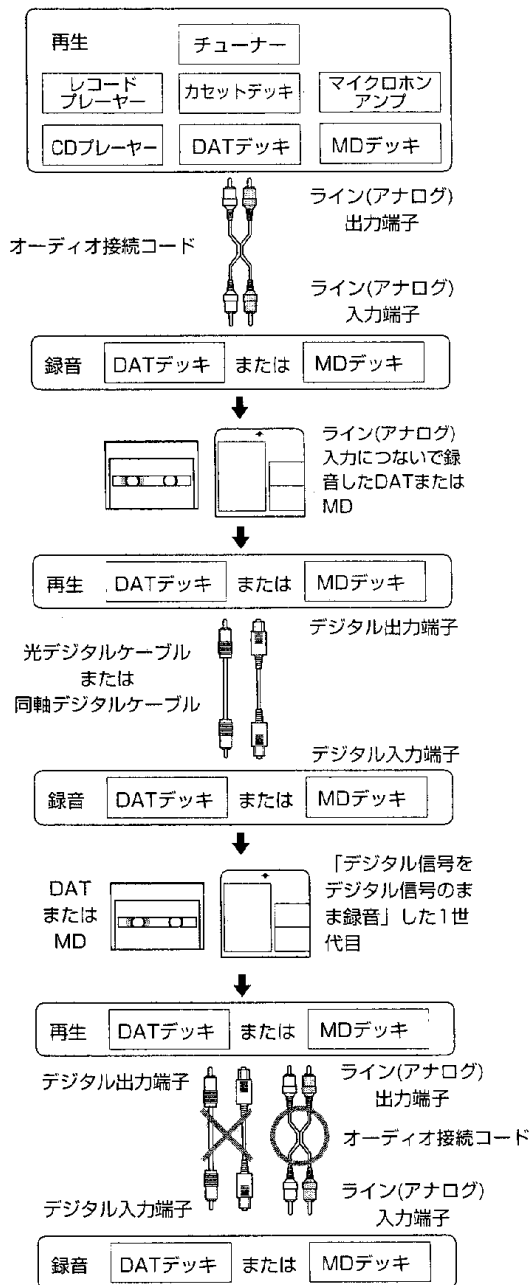
原則1

コンパクトディスク(CD)、デジタルオーディオテープ(DAT)またはミニディスク(MD)から、DATまたはMDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したものをさらに、他のDATまたはMDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」することはできません。



原則2

アナログレコードやFM放送などを録音したDATまたはMDから、他のDATまたはMDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したDATまたはMDから、さらに他のDATまたはMDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」することはできません。



編集の前に

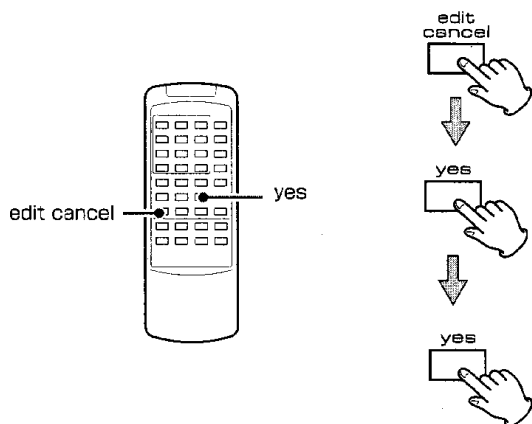
録音した曲を、消したり移動したり分割したりして編集することができます。また、ディスク名や曲名を付けることもできます。(再生専用のMDは編集できません)

プログラムモードでは編集できませんので、リモコンのcharacter/programボタンを押してプログラムモードを解除しておいてください。

編集結果を取り消すには

MDの編集結果を取り消して、本機に挿入する前の状態に戻すことができます。MDを取り出す前に、以下のボタンを押してください。

取り消した後は、始めから編集作業をやり直してください。

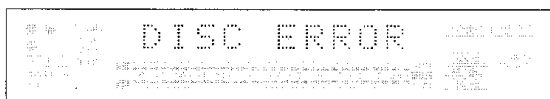


- 操作を中断したい場合は、もう一度edit cancelボタンを押してください。
- 録音結果は取り消しできません。
- "DISC ERROR"が表示された場合は取り消しできません。

"DISC ERROR"が表示されたら

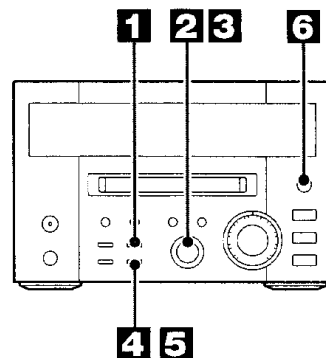
正常なはずのMDで"DISC ERROR"が表示された場合は、MDを入れ直してみてください。

- "DISC ERROR"が表示された場合、MDの内容を全て消去する"ALL ERASE"(24ページ参照)は可能ですが、編集結果を取り消すことはできません。



編集 [erase]

再生中の曲を消去するには



例：曲番3を消去する場合

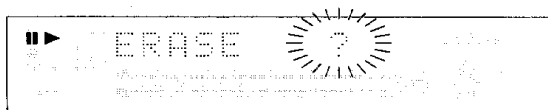
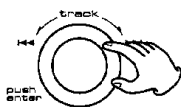
No.1	2	3	4	5
A	B	C	D	E
ERASE				
No.1	2	3	4	5
A	B	D	E	F

- 1 消去する曲の再生中にeditボタンを押す。



2 ジョグダイヤルを回してERASEを選ぶ。

リモコンの場合はスキップボタン(◀◀/▶▶)を押してください。



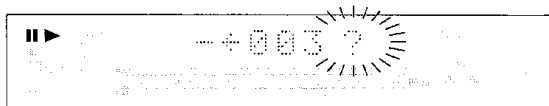
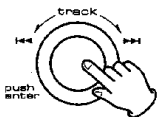
ジョグダイヤルを回すと、ディスプレイの表示は以下のように変わります。

DIVIDE?	: 曲を分割する。
COMBINE?	: 曲をつなぐ。
ERASE?	: 曲を消去する。
MOVE?	: 曲を移動する。

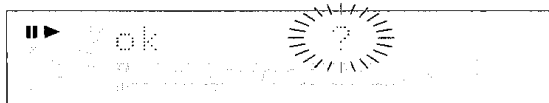
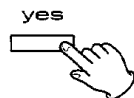
- 8秒以上放置すると、編集モードは解除されます。

3 ジョグダイヤルを押す。

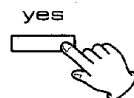
リモコンの場合はenterボタンを押してください。



4 yesボタンを押して曲番を確定する。



5 もう一度yesボタンを押す。



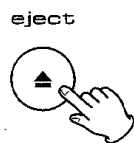
ディスプレイには次のように表示されます。

"EDIT NOW!"	: 編集中です。
"COMPLETE!"	: 編集が無事終了しました。

- "COMPLETE!"の表示中は、EJECTボタン(▲)や電源スイッチを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。
- 編集できなかった場合は、"CAN'T EDIT!"が表示されます。

6 MDを取り出す。

EJECTボタン(▲)を押してMDを取り出してください。



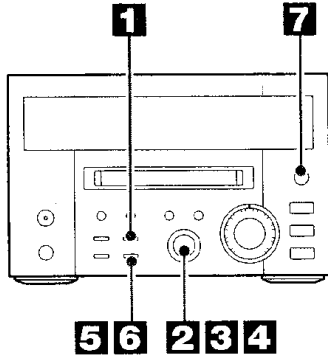
編集結果を取り消したいときは、EJECTボタンを押す前に22ページの取り消しの操作を行ってください。

"WRITING"が表示されているときは

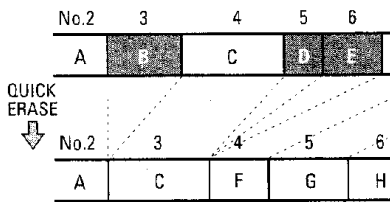
編集した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。編集内容を正しく記録できなくなります。

編集 [quick erase]

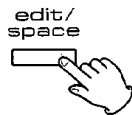
複数の曲を消去するには



例：曲番3、5、6を消去する場合

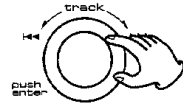


1 停止中にeditボタンを押す。



2 ジョグダイヤルを回してQ.ERASEを選ぶ。

リモコンの場合はスキップボタン(◀◀ / ▶▶)を押してください。



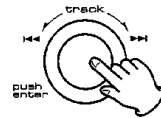
ジョグダイヤルを回すと、ディスプレイの表示は以下のように変わります。

- Q.MOVE? : 曲を移動する。
- Q.ERASE? : 曲を消去する。

- 編集を中断したい場合は、もう一度editボタンを押してください。
- 8秒以上放置すると、編集モードは解除されます。

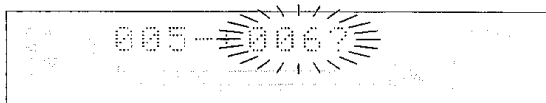
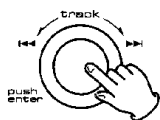
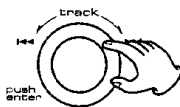
3 ジョグダイヤルを押す。

リモコンの場合はenterボタンを押してください。



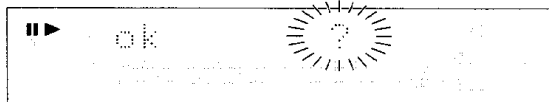
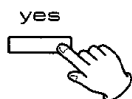
4 消去する曲番を選ぶ。

ジョグダイヤルを回して曲番を選び、ジョグダイヤルを押してください。リモコンの場合は、スキップボタン(◀◀/▶▶)とenterボタンで操作してください。全ての曲を消去する場合は、「ALL」を選んでください。

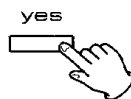


- 曲番を間違えた場合は、リモコンのclearボタンを押すと最後に選んだ曲を選び直せます。
- 全部の曲を選び直したいときは、編集を中断して最初からやり直してください。
- 消去する曲番はサーチボタン(◀◀/▶▶)で確認できます。

5 曲番を選び終わったらyesボタンを押す。



6 もう一度yesボタンを押す。



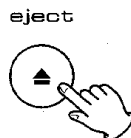
ディスプレイには次のように表示されます。

"EDIT NOW!" : 編集中です。
"COMPLETE!" : 編集が無事終了しました。

- "COMPLETE!"の表示中は、EJECTボタン(▲)や電源スイッチを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。
- 編集できなかった場合は、「CAN'T EDIT!」が表示されます。

7 MDを取り出す。

EJECTボタン(▲)を押してMDを取り出してください。



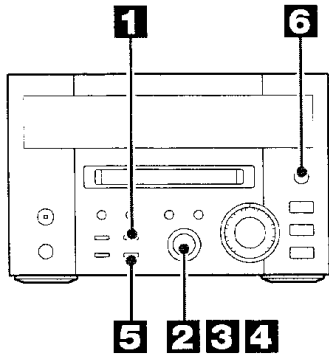
編集結果を取り消したいときは、EJECTボタンを押す前に22ページの取り消しの操作を行ってください。

WRITING"が表示されているときは

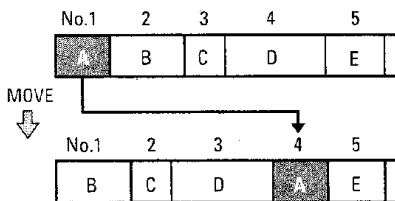
編集した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。編集内容を正しく記録できなくなります。

編集 [move]

再生中の曲を移動するには



例：曲番1から曲番4に移動する場合

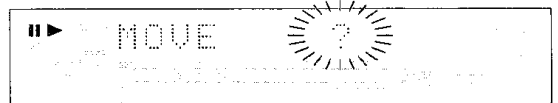
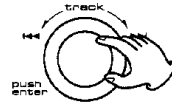


- 1 移動したい曲の再生中または一時停止中にeditボタンを押す。



- 2 ジョグダイヤルを回してMOVEを選ぶ。

リモコンの場合はスキップボタン(◀◀/▶▶)を押してください。



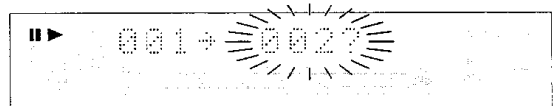
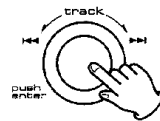
ジョグダイヤルを回すと、ディスプレイの表示は以下のように変わります。

- DIVIDE? : 曲を分割する。
- COMBINE? : 曲をつなぐ。
- ERASE? : 曲を消去する。
- MOVE? : 曲を移動する。

- 8秒以上放置すると、編集モードは解除されます。

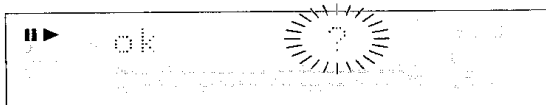
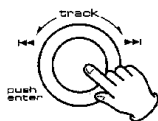
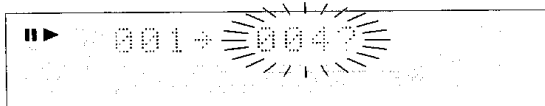
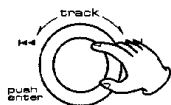
- 3 ジョグダイヤルを押す。

リモコンの場合はenterボタンを押してください。

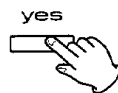


4 移動先を選ぶ。

ジョグダイヤルを回して移動先の曲番を選び、ジョグダイヤルを押してください。リモコンの場合は、スキップボタン(◀◀/▶▶)で選択してからEnterボタンを押してください。



5 yesボタンを押す。



ディスプレイには次のように表示されます。

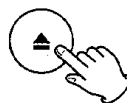
"EDIT NOW!" : 編集中です。
"COMPLETE!" : 編集が無事終了しました。

- "COMPLETE!"の表示中は、EJECTボタン(▲)や電源スイッチを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。
- 編集できなかった場合は、"CAN'T EDIT!"が表示されます。

6 MDを取り出す。

EJECTボタン(▲)を押してMDを取り出してください。

eject



編集結果を取り消したいときは、EJECTボタンを押す前に22ページの取り消しの操作を行ってください。

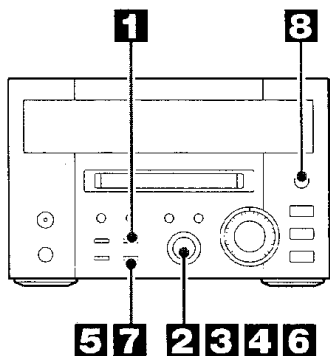
"WRITING"が表示されているときは

編集した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。編集内容を正しく記録できなくなります。

編集 [quick move]

複数の曲を一度に移動するには

一度に20曲まで移動できます。

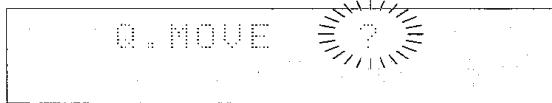
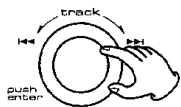


1 停止中にeditボタンを押す。



2 ジョグダイヤルを回してQ.MOVEを選ぶ。

リモコンの場合はスキップボタン(◀◀/▶▶)を押してください。



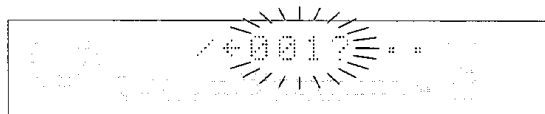
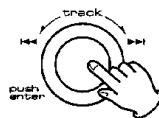
ジョグダイヤルを回すと、ディスプレイの表示は以下のように変わります。

- Q.MOVE? : 曲を移動する。
- Q.ERASE? : 曲を消去する。

- 編集を中断したい場合は、もう一度editボタンを押してください。
- 8秒以上放置すると、編集モードは解除されます。

3 ジョグダイヤルを押す。

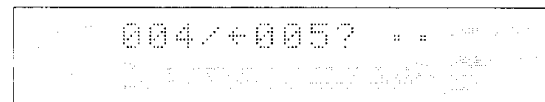
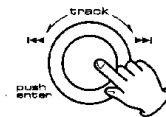
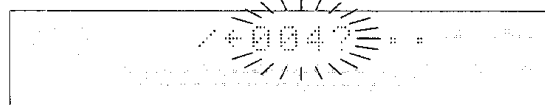
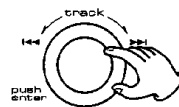
リモコンの場合はenterボタンを押してください。



4 移動する曲番を選ぶ。

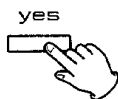
ジョグダイヤルを回して移動する曲番を選び、ジョグダイヤルを押してください。リモコンの場合は、スキップボタン(◀◀/▶▶)で選択してからenterボタンを押してください。

移動したい曲番を移動したい順番に全部選択するまで、この操作を繰り返してください。



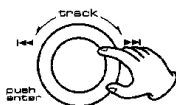
- 曲順はサーチボタン(◀◀/▶▶)で確認できます。
- 曲番を間違えた場合、リモコンのclearボタンを押すと、最後に選択した曲だけが消えます。全部の曲を選び直したい場合は、editボタンを押して編集を中断し、最初からやり直してください。

5 曲番を選び終わったら、yesボタンを押す。



6 移動先を選ぶ。

ジョグダイヤルを回して移動先を選び、ジョグダイヤルを押してください。リモコンの場合は、スキップボタン (◀◀/▶▶)で選択してからEnterボタンを押してください。



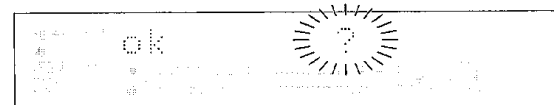
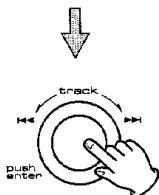
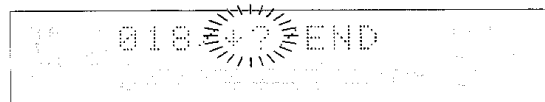
一番前に移動するとき



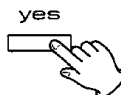
二つの曲番の間に移動するとき(例：2曲目と3曲目の間)



一番後ろに移動するとき



7 yesボタンを押す。



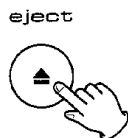
ディスプレイには次のように表示されます。

"EDIT NOW!" : 編集中です。
"COMPLETE!" : 編集が無事終了しました。

- "COMPLETE!"の表示中は、EJECTボタン(▲)や電源スイッチを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。
- 編集できなかった場合は、"CAN'T EDIT!"が表示されます。
- 一部の曲だけを選択した状態でyesボタンを押すと、選択されなかった曲は編集した部分の最後に追加されます。

8 MDを取り出す。

EJECTボタン(▲)を押してMDを取り出してください。

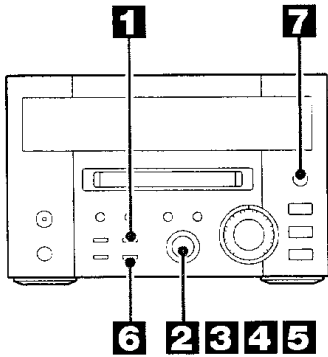


編集結果を取り消したいときは、EJECTボタンを押す前に22ページの取り消しの操作を行ってください。

"WRITING"が表示されているときは

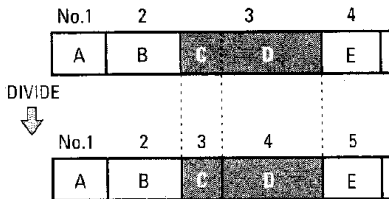
編集した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。編集内容を正しく記録できなくなります。

曲を分割するには



ひとつの曲として録音されたものをいくつかに分割することができます。アナログ録音したMDなどで、ひとつの曲番に複数の曲が録音されているときや、曲の途中で頭出しのための曲番を付けたいときに、この機能が使えます。分割したところよりあとの曲には、連続した新しい曲番が付きます。プレビュー機能を使うと、分割する位置を正確に指定できます。

例：曲番3を分割する場合

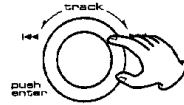


- 1** 再生中または一時停止中、分割したいところでeditボタンを押す。



- 2** ジョグダイヤルを回してDIVIDEを選ぶ。

リモコンの場合はスキップボタン(◀◀/▶▶)を押してください。



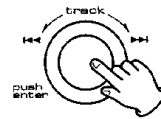
ジョグダイヤルを回すと、ディスプレイの表示は以下のように変わります。

- DIVIDE? : 曲を分割する。
- COMBINE? : 曲をつなぐ。
- ERASE? : 曲を消去する。
- MOVE? : 曲を移動する。

- 8秒以上放置すると、編集モードは解除されます。

- 3** ジョグダイヤルを押す。

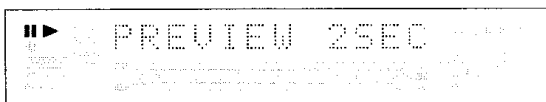
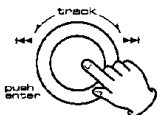
リモコンの場合はenterボタンを押してください。



プレビューする必要がない場合は、yesボタンを一回押して**6**に進んでください。("ok?"が表示されます)

4 プレビューする。

ジョグダイヤル(リモコンの場合はenterボタン)を2回押し、分割する位置から3秒間再生されます。

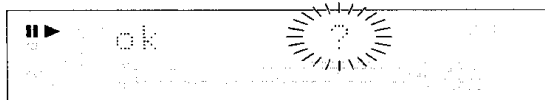
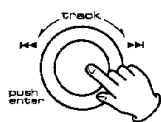
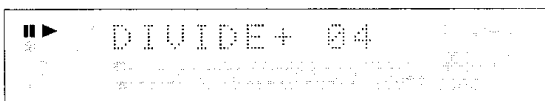
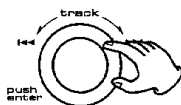


- 曲の最後にプレビューを始めると、次の曲も続けてプレビューされますが、divideでは分割できません。

5 分割する位置を調節する。

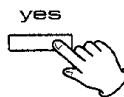
音を聴きながらジョグダイヤルを回して調節し、分割したい位置でジョグダイヤルを押してください。リモコンの場合は、スキップボタン(◀◀/▶▶)で位置を合わせてからenterボタンを押してください。

- ジョグダイヤルを回すと、1でeditボタンを押した位置より後の部分を、60ms(6/100秒)刻み32段階で調節できます。分割したい位置より少し前にeditボタンを押しておくと、編集が楽になります。



6 yesボタンを押す。

曲をふたつに分割し、2曲目の頭で一時停止状態になります。



ディスプレイには次のように表示されます。

"EDIT NOW!" : 編集中です。
"COMPLETE!" : 編集が無事終了しました。

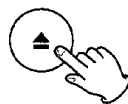
- "COMPLETE!"の表示中は、EJECTボタン(▲)や電源スイッチを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。
- 編集できなかった場合は、"CAN'T EDIT!"が表示されます。
- 分割した曲の間にブランク(無録音部分)は入りません。
- MDのシステム上の制約により分割できないことがあります。

1~6の操作を繰り返して、最大255曲まで分割できます。

7 MDを取り出す。

EJECTボタン(▲)を押してMDを取り出してください。

eject



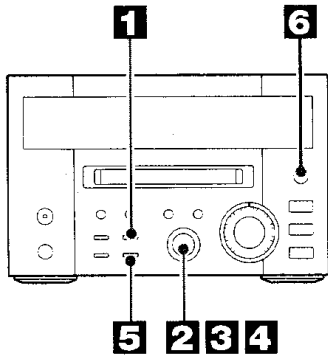
編集結果を取り消したいときは、EJECTボタンを押す前に22ページの取り消しの操作を行ってください。

"WRITING"が表示されているときは

編集した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。編集内容を正しく記録できなくなります。

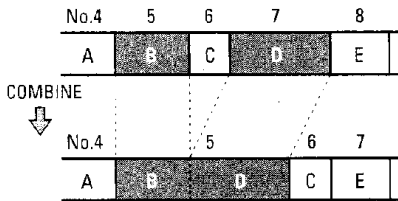
編集 [combine]

曲をつなぐには



2つの曲を1つにつなぐことができます。つながれた曲の曲番と曲名は削除され、それ以降の曲の曲番は自動的に更新されます。

例：曲番5を曲番7とつなげる場合。

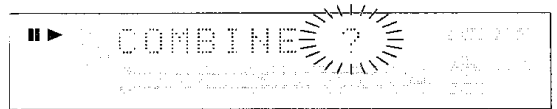
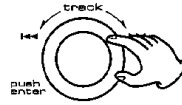


1 つなぎたい曲(曲番5)を再生してeditボタンを押す。



2 ジョグダイヤルを回してCOMBINEを選ぶ。

リモコンの場合はスキップボタン(◀◀/▶▶)を押してください。



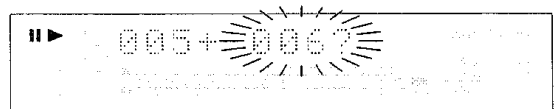
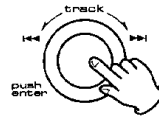
ジョグダイヤルを回すと、ディスプレイの表示は以下のように変わります。

- DIVIDE? : 曲を分割する。
- COMBINE? : 曲をつなぐ。
- ERASE? : 曲を消去する。
- MOVE? : 曲を移動する。

- 8秒以上放置すると、編集モードは解除されます。
- 編集を始めると本機は一時停止状態になります。

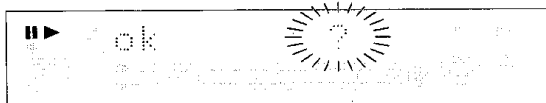
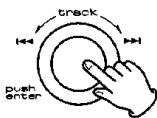
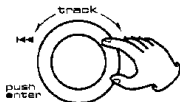
3 ジョグダイヤルを押す。

リモコンの場合はenterボタンを押してください。

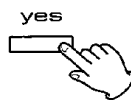


4 つなげる曲番(曲番7)を選ぶ。

ジョグダイヤルを回して曲番を選び、ジョグダイヤルを押してください。リモコンの場合は、スキップボタン(◀◀/▶▶)で選択してからEnterボタンを押してください。



5 yesボタンを押す。



ディスプレイには次のように表示されます。

"EDIT NOW!" : 編集中です。
"COMPLETE!" : 編集が無事終了しました。

- "COMPLETE!"の表示中は、EJECTボタン(▲)や電源スイッチを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。
- 編集できなかった場合は、"CAN'T EDIT!"が表示されます。
- 編集が終わると、編集した曲の頭で一時停止状態になります。
- MDのシステム上の制約により編集できないことがあります。

6 MDを取り出す。

EJECTボタン(▲)を押してMDを取り出してください。

eject



編集結果を取り消したいときは、EJECTボタンを押す前に22ページの取り消しの操作を行ってください。

"WRITING"が表示されているときは

編集した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。編集内容を正しく記録できなくなります。

タイトルの編集 1

カタカナ、アルファベットの英文字と小文字、数字、記号を使って、曲やMDにタイトルを付けることができます。タイトルは再生中に表示され、タイトルで曲を探すこともできます。

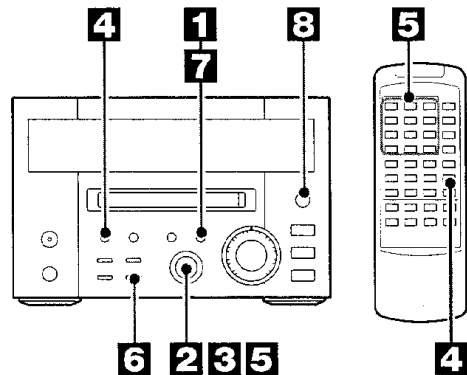
プリセットタイトル

あらかじめ用意されたプリセットタイトルを使ったり、頻繁に使うタイトルを登録しておけば、簡単にタイトルを編集できます。

- PRE1 : Pops
- PRE2 : Rock
- PRE3 : Classic
- PRE4 : Jazz
- PRE5 : Disco
- PRE6 : Best Hits
- PRE7 : Air Check
- PRE8 : No.
- PRE9 : Vol.

プリセットタイトルの内容は変更することができます。

本機をリセットすると、プリセットタイトルは工場出荷時の状態に戻ります。(P41 参照)



1 title inputボタンを押す。

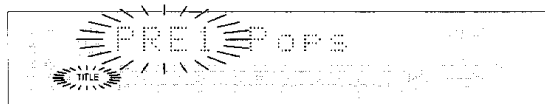
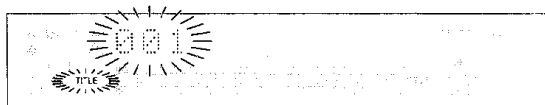
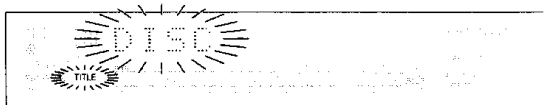
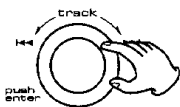
停止中でも再生中でも操作できます。

title
input



2 ジョグダイヤルを回して編集モードを選ぶ。

リモコンの場合はスキップボタン(◀◀/▶▶)を押してください。



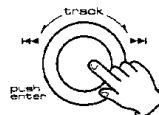
ジョグダイヤルを回すと、ディスプレイの表示は以下のように変わります。

- DISC : ディスクにタイトルを付けるとき。
- 001~ : 曲番にタイトルを付けるとき。
- PRE1~PRE9 : プリセットタイトルの編集。
- ALL ERASE? : ディスク名、全曲名の消去。

- 操作を中断したいときはtitle/inputボタンを押してください。
- 8秒以上放置するとタイトル編集モードは解除されます。

3 ジョグダイヤルを押す。

リモコンの場合はenterボタンを押してください。



4 入力する文字の種類を選ぶ。

本体のrec mode/characterボタンまたはリモコンのcharacter/programボタンを押して、入力する文字の種類を選んでください。

rec mode/
character



アルファベット大文字

A → B → C → D → E → ... → X → Y → Z → []

アルファベット小文字

a → b → c → d → e → ... → x → y → z → []

数字・記号・プリセットタイトル

0 → 1 → ... → 9 → ! → ... → @ → _ → `

PRE9 ← ... ← PRE2 ← PRE1 ←

(記号: ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ _ `)

カタカナ

ア → イ → ... → ワ → ヲ → ン → ア → イ → ...

[] ← ポ ← ベ ← ... ← ギ ← ガ ← ヲ ← ヨ

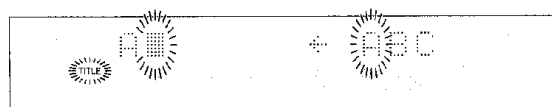
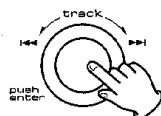
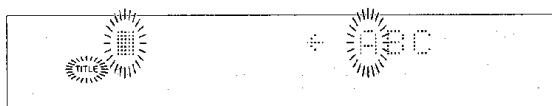
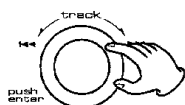
カタカナの濁音と半濁音は、2文字分使用して表示されます。

タイトルの編集 2

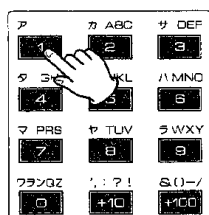
5 文字を入力する。

ジョグダイヤルを回して文字を選び、ジョグダイヤルを押してください。リモコンの場合は、スキップボタン(◀◀/▶▶)とenterボタンで操作してください。

タイトルの文字を全部入力するまでこの操作を繰り返してください。



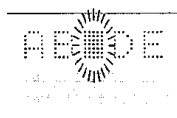
- リモコンの数字キーを使って文字を選ぶこともできます。(例：カタカナモードで[1]を押す度に「アイウエオ」が順番に表示されます)



- スペースを入れるときはedit/spaceボタンも使えます。
- サーチボタン(◀◀/▶▶)を押すとカーソルが左右に移動し、ディスプレイがスクロールします。ディスプレイに表示されていない文字を選ぶときはディスプレイをスクロールさせてください。
- 文字を消したいときはdeleteボタンを押すと一文字削除できます。
- 途中で文字の種類を変えるときは、characterボタンを押してください。
- title searchボタンを押すと、上書きモードと挿入モードの切り換えができます。入力した文字を変更したいときは、サーチボタン(◀◀/▶▶)でカーソルを移動して、文字を入力し直してください。

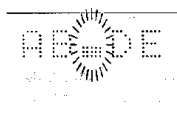
上書きモード：

文字を入力すると、カーソルの下の文字が置き換えられます。



挿入モード：

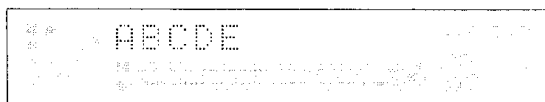
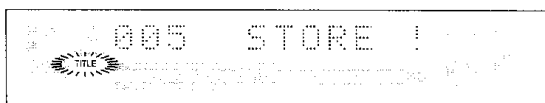
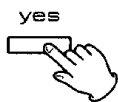
カーソルがある文字の前に文字を挿入します。



タイトルに使える文字数

一枚のMDにつき最大1792文字、一曲につき80文字まで入力できます。スペースも一文字として数えます。カタカナを使用した場合は、一文字あたりのデータ量が大きいいため、入力できる文字数は少なくなります。タイトルを削除するときは、既存のタイトルの上にスペースを上書きするのではなく、deleteボタンで削除してください。

6 yesボタンを押す。



7 タイトルの編集が終わったら title input ボタンを押す。

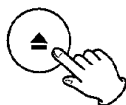
title input



8 MDを取り出す。

EJECTボタン(▲)を押してMDを取り出してください。

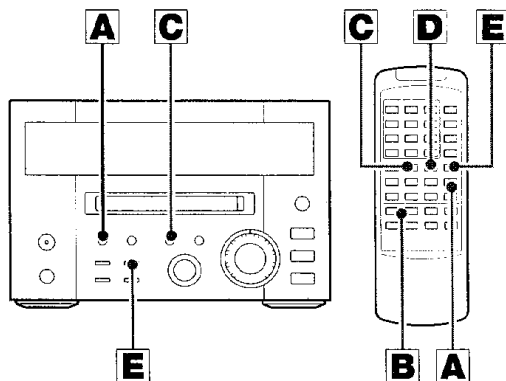
eject



WRITING"が表示されているときは

編集した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。編集内容を正しく記録できなくなります。

タイトルの編集に使用するボタン



A characterボタン

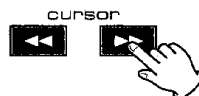
文字の種類を変更するときに押してください。

rec mode/
character



B サーチボタン(◀◀/▶▶)

カーソルを左右に移動してディスプレイをスクロールするときに押してください。



C title searchボタン

上書きモードと挿入モードを切り換えるときに押してください。

title
search



D deleteボタン

カーソルの下にある文字を消します。全部の文字を消したいときは、このボタンを押し続けてください。

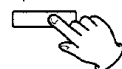
character
delete space
clear check



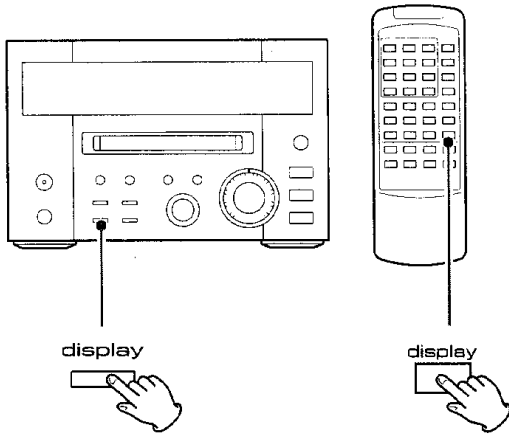
E spaceボタン

このボタンを押すと、カーソルの前に一文字分のスペースが入ります。

edit/
space



ディスプレイの表示

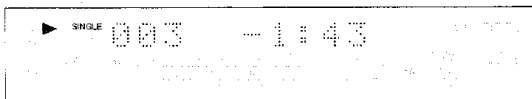


displayボタンを押すと、ディスプレイの表示が変わります。

A 再生中の曲の経過時間



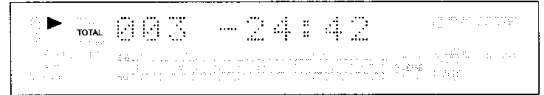
B 再生中の曲の残り時間



C 再生中のMDの総経過時間



D 再生中のMDの残り時間



● 停止中は総曲数および総再生時間を表示します。

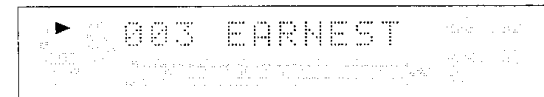


E MDの録音可能時間



F タイトル表示

再生中および一時停止中は曲のタイトルが表示されます。



● 停止中はMDのタイトルが表示されます。



未録音のMDを挿入した場合の表示

a "BLANK DISC"

ディスク名が付いている場合は、"NO TRACKS"が表示されます。



b MDの録音可能時間



c MDのタイトル表示



録音中の表示

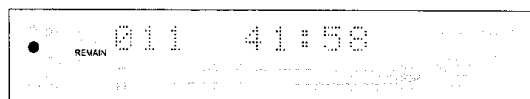
A 録音中の曲の録音経過時間



B 録音総経過時間



C 録音可能時間



メッセージ表示一覧

NO DISC

→ MDが入っていません。

*** UNLOCK

→ デジタル入力信号に異常があります。デジタル接続を確認してください。

*** SCMS ON

→ シリアルコピーマネージメントシステムで制限されているため、デジタル録音はできません。アナログで録音してください。

*** Not Audio

→ デジタル入力されている信号がオーディオ信号ではないため、録音できません。

DISC FULL

→ MDの残り時間がないため、録音できません。
→ 255曲までしか録音できません。

TITLE FULL

→ MDと曲のタイトルは1792文字が上限です。

BLANK DISC

→ 何も録音されていない録音用MDが入っています。

NO TRACKS

→ MDにタイトルが付いていますが、一曲も録音されていないMDが入っています。

READING

→ MDの情報を読み取っています。

WRITING

→ 編集または録音の結果をMDに記録しています。

DISC ERROR

→ MDに異常があります。

EDIT NOW!

→ 編集中です。

CAN'T EDIT

→ MDのシステム上の制約により編集できません。

ok?

→ 確認を求めるメッセージです。

PROTECTED

→ MDが誤消去防止状態になっています。

PLAY ONLY

→ 再生専用のMDが入っています。

("***"の部分には曲番が表示されます)

システム上の制約について

MD(ミニディスク)は、従来のカセットやDATと録音の方式が異なるため、いくつかのシステム上の制約があります。その制約により、次のような症状が出る場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

録音可能時間内であっても"DISC FULL"が表示される。

- 時間に関係なく、曲数がいっぱいになると"DISC FULL"を表示します。MDシステムでは、255曲以上の録音はできません。さらに曲を追加録音するには、不要な曲を消すか、別のMDに分けて録音してください。

曲数も録音時間も余裕あるのに"DISC FULL"が表示される。

- 曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく"DISC FULL"を表示します。

何曲も消したがMDの残り時間が増えない。

- MDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視されるので、短い曲を何曲消しても時間が加算されないことがあります。

録音経過時間と残量時間の合計が、MDの録音可能時間と一致しない場合がある。

- 通常、1クラスタ(約2秒)が最小単位で録音されます。それに満たないものでも、2秒分のスペースを使うため、実際に使用可能な時間は少なくなります。またMDに傷があると、傷の部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。

つなぐことができない場合がある。

- 編集してできた曲は、つなげない場合があります。

サーチを行うと音が途切れることがある。

- 編集してできた曲は、サーチすると音が途切れる場合があります。

曲番が正確に付かないことがある。

- デジタル接続でCDを録音するとき、CDの録音内容によっては、短い曲ができる場合があります。また、オートで曲番を付けた場合、録音するもの内容によっては曲番が正確につかないことがあります。

"READING"表示がなかなか消えない。

- 新品の録音用MDをセットすると、通常より"READING"表示が長くなります。

タイトルが1792文字入らない。

- タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されます。7文字以下のタイトルでも7文字分のスペースを使うため、1792文字入りきらない場合があります。

モノラルフォーマットのMDでは、時間を正確に表示しない場合があります。

おや？故障かな？

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスセンターにご連絡ください。

電源が入らない

- 電源プラグの差し込みが不完全ではありませんか？

"DISC ERROR"が表示される。

- MDが損傷しています。MDを交換してください。

再生できない。

- 結露している場合は、MDを取り出して数時間放置してください。
- 何も録音されていないMDが入っている場合は、録音されているMDを入れてください。
- MDは矢印の向きに挿入してください。

音が出ない。

- システムとの接続をもう一度確認してください。
- 音量等、アンプの操作を確認してください。

録音できない。

- MDが誤消去防止状態になっている場合は、誤消去防止つまみをスライドさせて孔をふさいでください。
- システムとの接続をもう一度確認してください。
- アナログ録音の場合、録音レベルを調節してください。
- 再生専用のMDには録音できません。録音用MDと交換してください。
- MDの残り時間が足りない場合は、不要な曲を消去するかMDを交換してください。
- アンプの操作を確認してください。

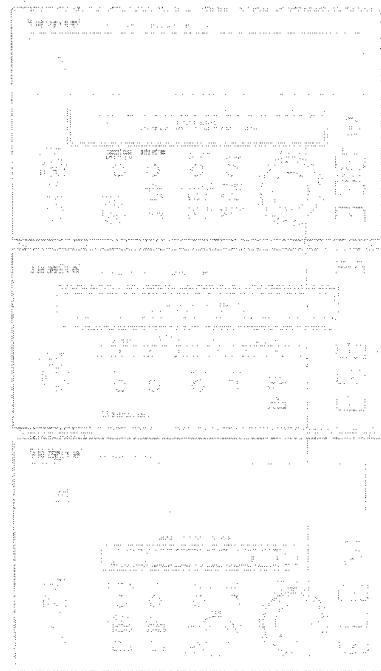
雑音がる。

- テレビなど強い磁気を帯びたものからは十分離して設置してください。

リセットするには

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は、電源スイッチをオンにしたまま電源プラグをコンセントから引き抜き、EJECTボタン(▲)を押しながらプラグに差し込んでマイコンをリセットしてください。

リセットすると、本機は工場出荷時の状態に戻ります。



お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。

化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

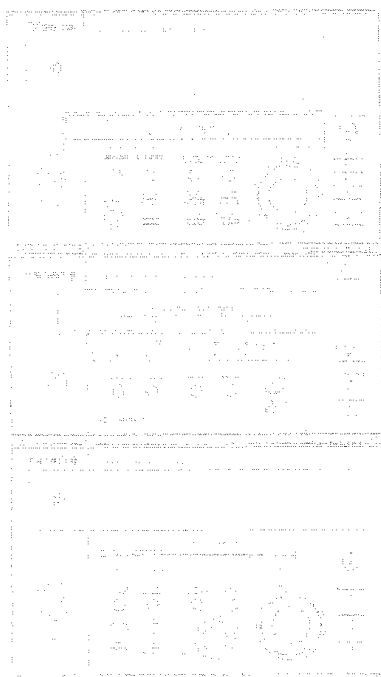
⚠ お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

おもな仕様

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
レーザー	半導体レーザー
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
回転数	約400rpm~900rpm(CLV)
サンプリング周波数	44.1kHz
周波数特性	20~20kHz(±1dB)
S/N比	92dB以上
ワウフラッター	測定限界値以下
ライン出力レベル	2.0Vrms
電源	AC100V, 50-60Hz
消費電力	14W
外形寸法(幅、高さ、奥行)	175×115×315mm
質量	2.6kg
付属品	リモコン×1個 乾電池(単4形、UM-4)×2本 入出力コード×2本 リモートコントロールコード×1本 光ケーブル×1本

- 仕様および外観は改善のため予告なく変更されることがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。



保証とアフターサービス（よくお読みください）

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日から一年です。

■補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスセンター(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

41ページの「おや?故障かな?」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスセンターにご連絡ください。なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費等が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：ミニディスクデッキ MD-H100
お買上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先 (社)私的録音補償金管理協会
Tel:03-5353-0336 Fax:03-5353-0337

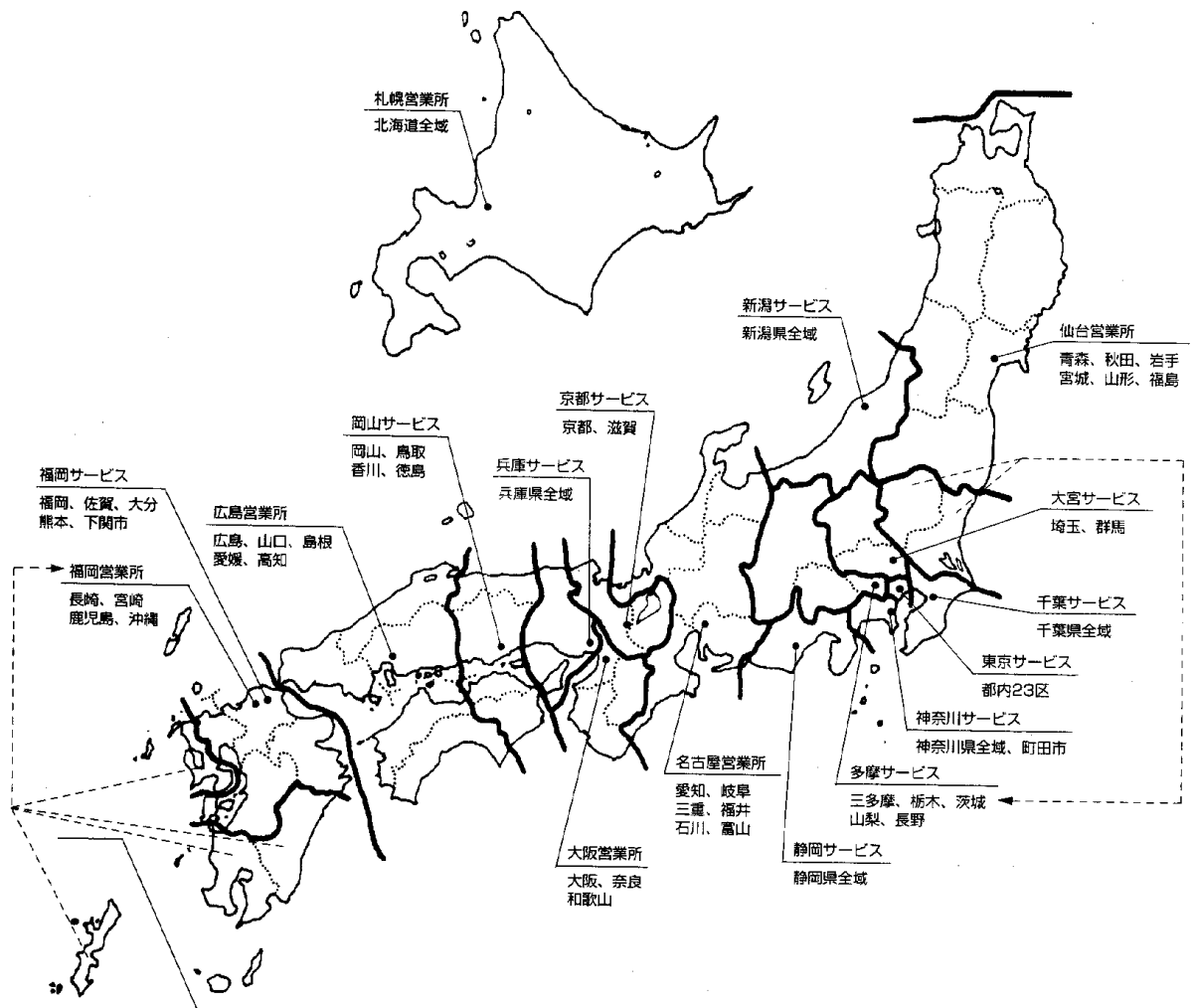
音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。



適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

TEACサービス・エリア



ティアック株式会社 営業部

☎(0422)52-5073 〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

技術的なお問い合わせ AV 技術相談室 ☎(0422)36-2210 〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

アフター・サービスに関するお問い合わせ	札幌営業所	仙台営業所	新潟サービス	大宮サービス	多摩サービス	東京サービス	千葉サービス	神奈川サービス	静岡サービス	名古屋営業所	大阪営業所	兵庫サービス	岡山サービス	広島営業所	福岡営業所	福岡サービス	
	☎(011)521-4101(代)	☎(022)218-0007(代)	☎(025)245-0103	☎(048)642-4551	☎(0422)52-5102	☎(03)3592-1827	☎(043)255-1281	☎(042)746-6850	☎(054)238-2431	☎(052)702-3100(代)	☎(075)871-8730	☎(06)6384-5201(代)	☎(0727)55-1002	☎(0862)25-8601	☎(082)294-4751(代)	☎(092)431-5781(代)	☎(092)936-5672
	〒064-0807	〒981-3135	〒950-0865	〒331-0052	〒180-8550	〒100-0014	〒260-0042	〒228-0803	〒422-8034	〒465-0025	〒616-8224	〒564-0062	〒666-0004	〒700-0945	〒730-0846	〒812-0008	〒811-2202
	札幌市中央区南7条西2-2 くぼたビル	仙台市泉区八乙女中央3-2-30 リバーサイドビル及川	新潟県新潟市元馬越1-4-11 黒井ハイツ	埼玉県三橋2-846	東京都武蔵野市中町3-7-3	東京都千代田区永田町2-10-7 星ガ岡会館	千葉県中央区椿森1-21-13 清水ビル	相模原市相模大野7-14-9 グリーンシティビル	静岡県高松1-12-1 寿道ハイツ105号	名古屋市中区上社5-406	京都市右京区常盤窪町19 西垣ビル	吹田市垂水町3-34-10	兵庫県川西市萩原1-11-29	岡山市新保1142-6	広島市中区西川口町13-19	福岡市博多区東光2-2-24	福岡県糸屋郡志免町志免1041

■営業所にはサービス・センターを併設しています。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日を除く 9:30~12:00/13:00~17:00です。
 ■住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。